

第22回浜松市芸術祭

演劇部門

日 時 昭和51年11月14日(日)
午後13時00分 開場
午後13時30分 開演
会 場 浜松市民会館ホール
主 催 浜松市教育委員会
主 管 浜松社会人演劇連盟

13:30~14:30 演劇サークル鬼の村

田中わこ作 「泣き虫アクマ」

スタッフ

演出	田平明美
舞監	菅原紀子
制作	名川賢二
	平田俊彦
	中村俊晴
	熊谷秀子
小道具	山本昇二
照明	明松武志
効果	果装村一
衣装	メイ大石准子

キャスト

山本小玉久子
メガネ市川正
時子田平明美
女その1 小松恵美子
その2 白井一子
そば屋の出前持
鈴木敦代

女の人の涙からダイヤモンドを造ることが悪魔の仕事で、その涙を集めに一人の悪魔がある香水会社にしのんでいる。

なかなか帰ってこない悪魔に腹を立てた大王が上役の悪魔を使って、はっぱをかけさせるが、運悪くその二人の会話を、だまそうとしていた女の子に聞かれてしまう。

門限のせまった悪魔は、あの手この手で女の子から涙をとろうとするが、ほんとうのことを知ってしまったことに漠然とする。

しかし、それでもいいと何とか涙を流してあげようとする女の子の真心にふれて、いつしか悪魔も女の子がすきになってしまう。

人間の女を好きになってしまった悪魔は、掟によって稲妻に背中をさし貫ぬかれて消されてしまうのであった。

〒430 浜松市住吉2丁目3-1
浜松短期大学内

14:45~15:45 浜松放送劇団

トリスタン・ベルナル作 鈴木力衛 訳
「道徳と偶然」より 村越一哲潤色

「これでドラマが書ける」

スタッフ

演出	村越一哲
舞台監督	小栗雅
装置	中村昂平
照明	石橋純一
効果	三ツ井康雄
	村松勇
	山下幸男
衣裳	小野川芳江
	横山あゆみ

キャスト

イザベル(元女優)	富田洋子
マリー(タレント志願の少女)	鈴木美津江
給仕	西脇章
フィリップ(シナリオライター)	小栗雅
フォルチュネ(若い銀行員)	高崎勝則
アンリ	岡本和孝
アンリの母	鈴木多見子
カフェの女主人	青山葉子
カルドロール(銀行の頭取)	古賀昭隆
ルズロン(フォルチュネの叔父)	石川庄治

劇作家フィリップは原稿のメ切りを明日にひかえて、アイデアが出てこなくて四苦八苦……。いつものカフェで頭をかかえている。「深刻なのは、もう何本もやったから今度は軽いタッチで行きましょう……そうですね一寸諷刺のきいたコメディーといきましょう……。」といとも簡単に言ったプロデューサーの尤もらしい顔が眼に浮かんで来る……。どうしても後21時間以内に何とかしなければ契約は破棄されるのである。

さあ フィリップはどうなるであろう。

〒430 浜松市鍛冶町140-4
丸市商事内 村越一哲
TEL 54-8151

16:00~18:00 劇団からっかぜ

※静岡県演劇コンクール参加作品

かたおかしろう作 「わんぱく地獄破り」

スタッフ

演出	最上三平
	西井学
大道具	布施佑一郎
小道具	黒沢八一
衣裳	河村直子
メイクアップ	佐藤つた江
照明	山川徹朗 加藤重行
効果	野村進一
舞台監督	黒沢八一
普及	水無川剛

キャスト

テツ山川徹朗
カスミしろうちまきこ
トメコ小野寺英子
ヒデタロー大城伸友
キイコ平山真理
エンマ大王志田一
赤鬼伊奈勇
青鬼佐藤つた江
黄鬼小津三郎
亡者加茂雅之

☆主人公は5人の子ども。

『あの世』へ行ったわんぱくたちが、エンマ大王や鬼どもをキリキリ舞いさせて地獄を破ってしまうというユカイ、ツーカーなお話。

さて、ロックードに水害、公害、地震に、交通戦争、受験地獄、はたまた、シラケ、三無主義と、この世こそ地獄という気がするのですが、これをうち破る力はどこにあるのでしょうか。この世の地獄を破るのは、お芝居の中のできごとよりもずっとずっとたいへんだらうけれど。

とんだり、はねたり、うたったりしながら、手をつなぐことの意味や生命の大切さに気づいていくわんぱくたちのエネルギーを。

役者であるわたしの胸に、裏方である俺の胸に、笑ったり、あきれたり、びっくりしたりしている客席のあなたの胸に、矢のように射込むことができたら!!

〒430 浜松市曳馬町1409
劇団からっかぜ
TEL 63-6011

